

Sagittarius

京都産業大学通信 KYOTO SANGYO UNIVERSITY CAMPUS HUMAN COMMUNICATION
サギタリウス<第29号>2005年12月

40th
Anniversary
KYOTO SANGYO UNIV.

VOL.29
DECEMBER 2005

未来へのムーブメント特集号

巻頭トーク～誰のための就活か

今こそ積極果敢に
自分を信じて駆け出そう!!

がんばる仲間の“奮闘”グラフィティ～この秋の学生イベントレポート

連載企画 京都産業大学創立40年の歩み【4】

新しい時代の始まり～京都産業大学創立40周年記念行事レポート



京都府によるイタリア若手デザイナー招聘事業に通訳として関わった
外国語学部言語学科イタリア語専修4年次生の2人
※写真は京都の着物作家とコラボレーションしたイタリアのファッションデザイナー
J.D.ニコラ氏とその作品をかこんで(新風館で行われた展示会「Eleganza」会場にて)

※イタリア若手デザイナー招聘事業／京都府はトスカーナ州やフィレンツェ市など、北イタリアとの経済交流を積極的に行っており、その一環として、伝統文化やものづくりの技術を互いに伝え合う事業を展開。府は、京都の若手工芸職人をイタリアに派遣する一方、トスカーナ州在住のインテリアとテキスタイルのデザイナーを招聘。イタリア・デザインを京都の伝統産業に活かす取り組みを実施。本学外国語学部言語学科イタリア語専修は、全国でも数少ないイタリア語の研究・教育機関として府から要請を受け、学生通訳によって事業に協力している。

- 京都の伝統工芸品に関するモーリ氏の質問を通訳する團野君
- ニコラ氏に日本語で書かれた資料を訳して説明する雨宮君



(表紙のふたり)

- 表紙写真左／雨宮拓郎(あめみやたくろう)
外国語学部言語学科イタリア語専修4年次生
愛知県 天白高校出身
- 表紙写真右／團野豊(だんのゆたか)
外国語学部言語学科イタリア語専修4年次生
大阪府 大阪教育大学教育学部附属平野高校出身
- 今回の表紙は、学部での学びと留学で培ったイタリア語能力を活かしてこの秋、京都府が招聘したトスカーナ州のデザイナー2名の通訳として活躍した二人。最も苦労したのは「日本語独特のニュアンスをイタリア語で説明すること」と口を揃えます。
- 「人間国宝って?はんなりって?イタリア語にない言葉が日本語には多くて」とインテリアデザイナーであるカルロ・ヴィットーリオ・モーリ氏を担当した團野君。「単に言葉を伝えるのではなく、感情も伝えなくてはならないことが難しい」とファッションデザイナーのジュリアナ・デ・ニコラ氏を担当した雨宮君。イタリアのデザインと京都の伝統工芸、そのコラボレーションを支える通訳には、日伊双方の文化に対する理解と知識が不可欠。本学4年間の学びでイタリア語が堪能となった二人も、今回の通訳経験をおして、あらためて感じるが多かった様子。
- 「産まれる」1カ月前まで、イタリア滞在中の母のお腹の中にいた雨宮君は「Made in Italy」を自称。かたや大阪生まれの大阪育ち、サッカー好きが高じてイタリアの魅力に取りつかれたという團野君。
- 「浪速男の團野君のコミュニケーション能力にはいつも脱帽」と雨宮君がいえば、團野君は「僕にとってはお好み焼きが“おかん”の味だけど、雨宮君はトマトソースが“マンマ”の味。そんない彼の感性にはかなわない」と笑顔。
- 雨宮君は「イタリア語は修得した。今回の経験を活かして今後はイタリア・デザインに関わって生きていきたい」と将来についても夢いっぱい。来春からホテルマンとして働くという團野君は「4年間の大学生活で得た国際感覚、通訳体験で培った表現力と反射神経を仕事に活かしていきたい」ときっぱり。卒業を目前に、通訳という貴重な体験を通じて大きく成長した二人。国際人としての彼らの将来が楽しみです。

Events Calendar

December

- 21日「水」 企業情報フォーラム
- 25日「日」 第37回定期演奏会(主催 全学応援団吹奏楽部)
- 27日「火」～1月6日「金」 冬期休業

★図書館／19日「日」から27日「火」まで全日開館(日曜日含む)

January

- 7日「土」 授業開始
- 11日「水・12日「木」 第4回就職ガイダンス(神山ホール)
- 13日「金」～2月17日「金」 企業フォーラム(のべ18日間)
- 14日「土」 就活祭(6号館)
- 15日「日」 外国人留学生入学試験「後期」
- 20日「金」 授業終了
- 23日「月」～2月14日「火」 秋学期定期試験
- 30日「日」～2月1日「水」 入学試験「前期日程」

★図書館／6日「金」より全日開館(日曜日含む)

February

- 4日「土」～5日「日」 入学試験「前期日程Ⅱ」
 - 17日「金」～18日「土」 大学院博士前期課程・修士課程(春季)・博士後期課程入学試験
- ★図書館／午前8時45分から午後4時30分開館(日曜・祝日以外)



これは本学創立40周年を記念して作成されたロゴマークです。大学の学章であるサギタリウスから五芒星と六芒星を五角形(生命の象徴)、六角形(宇宙エネルギー)に置き換えて表現。「無限の可能性を秘めた京都産業大学」をイメージしています。

www.kyoto-su.ac.jp/



写真注釈) 本学図書館裏、隣地との境界付近にある「地中電磁波観測設備」。センサーシステムを先端に取り付けた信号ケーブルをボアホールに挿入するために、農業用散水ホース巻き取り機が転用されるなど、すべては「工作大好き少年だった」という筒井教授と工学部学生たちの手作りの装置。

VOICE of Sagittarius

工学部 教授
筒井 稔
つついみのる
tsutsui@cc.kyoto-su.ac.jp

- 専攻分野 / 電磁波計測工学
- 担当科目 / 学部等 / 基礎通信工学、デジタル信号処理、工学のための物理II、情報通信工学セミナー、情報通信工学実験A・B、情報通信工学特別研究I、情報通信工学特別研究IIA・B / 大学院 / 電磁波計測工学特論、電波通信工学演習・実験II-1・2、電波通信工学演習・実験I-1・2、電波通信工学特別研究II-1・2、電波通信工学特別研究I-1・2
- 略歴 / 1967年同志社大学工学部卒業 (京都大学工学博士)

地中の電磁波パルスを検出し、それを解析・処理することにより、その波源位置が震源と一致していることを発見。この研究の進展により「地震発生予測の実現」に繋げられることをめざしている。

● 京都大学超高度電波研究センター(現生存圏研究所)に所属していた時に、地球磁気圏(地球磁場が及び宇宙)で発生している電磁波の観測・研究を行っていました。本学に移ってきたからはそれに加えて、誰も着手していなかった「地中の電磁波」を探ろうと考えたのです。もちろん、当時は地中に電磁波が存在しているかどうか、まったく不明な地中の岩盤が衝撃を受けた時に電磁波が発生する圧電現象(ライターやガスコンロの点火口にある火打ち石に見られる現象)を念頭に置き、その検出方法を考案しました。

● 電磁波を計測するにはアンテナが必要ですが、地中にもアンテナを設置しようと考えて、本学に地中にボアホール(観測用穴)を掘るための研究費を申請しました。その結果、1998年に、図書館裏、隣地との境界付近に直径10cm、深さ100mの非導電性のボアホールを構築し、そこにセンサーを挿入して、地中電磁波環境測定を始めました。この測定で、2000年に、電磁波パルスが地中で励起されている事を世界で初めて発見しました。

● この成果を論文にまとめ、2002年に地球物理学学会の最高峰である米国地球物理学連合の「Geophysical Research Letters (GRL)」に掲載し、受理され、掲載されました。

● 次に、この地中電磁波パルスの発生位置を見つけてようと、研究室では新たなプロジェクトを学生と共にスタートさせました。そこではまず、電磁

波パルスの到来方位を見つめるためのセンサーの開発を行いました。パルスが含んでいる磁界の振動方向を検出するためのセンサー(水平直交配置のサーチコイル2本)と、方位を決定するための垂直電界ダイポールアンテナを組み合わせて、一組のセンサーシステムとして完成させました。

● 一方、検出したそれら電磁波3成分の信号から、電磁波パルスの到来方位をリアルタイムで決定し、それをコンピュータ画面上に表示するための信号解析・処理と画像表示を行うコンピュータプログラムを完成させました。

● このハードウェアとソフトウェアを組み合わせた装置の完成を受けて、センサーシステムをボアホール内に挿入し、観測を始めて、週間後の2004年1月6日に三重県の熊野灘沖で地震が発生し、それと同時に強い電磁波パルスを検出し、コンピュータ画面の地図上にその到来方位が表示されました。

● コンピュータは一方で、検出した電磁波パルスの周波数の時間変化をも算出して、電磁波パルスの伝搬距離を得る事ができました。その距離を到来方位に当てはめると、波源位置が震源域と見事に一致したのです(この成果も論文として2005年のGRLに掲載、出版されました)。

● データを調べてみると、この地震発生の日前から電磁波パルスを検出してきていました。今後の詳細な分析と、定量的データの蓄積によって確認する必要がありますが、このことは地震を引き起こす、地殻変動の発生を「事前に掴める」可能性をも秘めています。

● この装置は本学構内以外には無く、地震発生予測の実現へと発展させていくためには多点での観測が必要であります。また、地震計等による

地殻変動の観測研究と連携すれば「地震発生予測」の実現に向けての研究が一層進展するものと考えています。

● 本学の地理的条件も幸運でした。京都盆地であるため京都駅周辺でも深さ400mまでが堆積層。ところが、本学キャンパスでは約50mで基盤岩に達し、地上の雑音を遮蔽する堆積層の下にセンサーを置く事ができたので、理想的な観測状況となりました。

● 更に学生たちの寸暇を惜しまない研究への参加と、労苦を厭わない探求心による協力がこの研究の成功に繋がりました。

● 今後は地震発生予測の実現のために、多点観測網の構築を強く押し進めたいと考えています。新たな観測装置の設置に向けて、皆様方のご協力をお願いします。



● 社会注目の研究やスポーツ指導、教学改革などに取り組む教員による「VOICE of Sagittarius」コーナー。質問やご意見など、記載の教員メールアドレスまでどうぞ。

March

7日「火」 入学試験「後期日程」、編転入学試験「後期」
18日「土・19日」日 卒業式(学位授与式)
19日「日」 学長・学生部長表彰
20日「月」～31日「金」 春休み休業
29日「水・30日」木 在学生履修ガイダンス
31日「金」 学年終了(秋学期終了)

★図書館 / 午前8時45分から午後4時30分開館
(日曜・祝日以外 / 19日「日」は臨時開館)
29日「水・30日」木は午前8時45分から午後8時開館

Sagittarius 京都産業大学通信
KYOTO SANGYO UNIVERSITY
CAMPUS HUMAN COMMUNICATION PAPER
VOL.29
DECEMBER 2005

サギタリウス第29号 / 2005年12月
未来へのムーブメント特集号
contents

巻頭トーク / 誰のための就活か
今こそ積極果敢に
自分を信じて駆け出そう!! 3

この秋の学生イベントレポート
がんばる仲間の「奮闘」グラフィティ 7

連載企画
京都産業大学創立40年の歩み
シリーズ「4」1996年～2005年 9

京都産業大学創立40周年記念行事レポート
新しい時代の始まり 11

情報満載
キャンパス@メール 13

ヒューマンレポート
「たにがはち」KYOTO SANDAI 15



サギタリウスは射手座。その意味は希望。宏大無辺な大宇宙を駆けめぐるギリシヤ神。新しい時代の青年の将来と世界的雄飛を期待する本学の学章です。

今年度の発行予定 <2006> ● 3月 / VOL.30
※ 次年度「VOL.31」は2006年4月に発行予定

団塊世代の大量定年を控え、「就職氷河期は終わった」と言われています。
だからといって、今日まで“人材を選ぶ眼”を研ぎ澄ましてきた企業・機関が、
求められることをただ待つだけのような学生にまで門戸を広げ、
迎え入れてくれるのでしょうか。

たとえ氷河期は終わっても、次に来るのが暖かな春とは限らない時代、
学生にとって最も大切なのは「自ら動こう!!」とする積極果敢さに他ならないはず——。
ビジネス最前線で活躍する3人の卒業生、
内定を得て学生就職アドバイザーとして後輩を支える4年次生、
それぞれが語る「Positive and Active」な日々から、駆け出す力を漲らせてほしいと思います。



今こそ 積極果敢に

Be proactive about your future now!!

自分を信じて 駆け出そう!!

巻頭トーク
誰のための
就活か



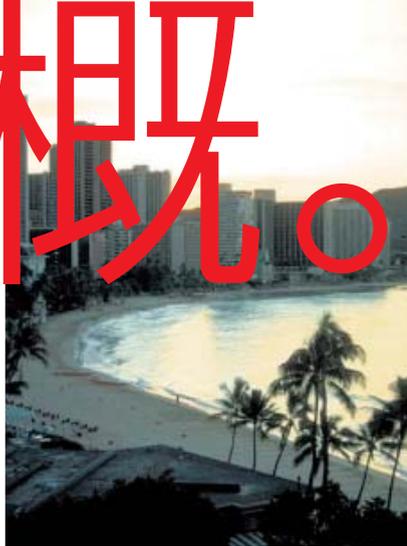
2006
1.14

就活祭
に参加しよう

名称が「就活祭」となって4年目、
現役アドバイザーと卒業生アドバイザーとの
就活応援コラボレート企画イベント!!
最も身近な“OB・OG”社会人と出会うなど
先輩訪問が大学でできるというチャンスです!!

- 日時／2006年1月14日【土】10:00～17:00
(13時からは卒業生を招いての業界研究企画)
- 場所／5号館

概観。



在学中は英語研究会 「EISS」の活動に没頭。

● なにかに縛りつけておかないと、自分がどこに行ってしまうかわからない。そんな気持ちで入部したのが英語研究会「EISS」。4年間である程度は英語が話せるようになりましたが、それ以上の成果を得る日々でした。当時の「EISS」は100人規模。「集団の中の役割の果し方」が身につきました。

● また、クラブはどうあるべきか、我々はなぜ英語を修得しようとするのか等々、夜を徹しての議論も頻繁。思えば稚拙な議論でしたが、どれほどの言葉を並べても「行動が伴っていないと説得力がない」ことを学んだのは良い経験でした。

就職を意識し始めたのは 4年次生になってから。

● 「信じられない」でしつづければ、当時は企業面接に解禁日(10月1日)があったのです。それもあつて9月の「EISS」夏合宿に参加していたら同期の一人が来ない。「合宿に来ないで何してるんだ」と電話したら、「お前こそ就職活動もしないで何してるんだ!!」と。驚きつつ、焦りがこみあげてきました。それでも合宿には最後まで参加帰った9月中旬、就職活動を開始しました。

● クラブで培った「英語力が活かせる仕事」に

は思っていたものの、就職活動を始めた頃はまだ、志望を旅行業に絞っていたわけではありません。とにかく多くの社会人の方々と話す機会を求めて訪ね歩きました。その中に旅行業勤務の「EISS」の先輩もおられ、お話から「世界中を見まわれる添乗の仕事」に夢を抱くようになったのです。

「人を大切にする日本旅行で働きたい!!」 とあって20数年、株式会社日本旅行ハワイ 代表取締役社長としてホノルルに。

● 当時の京都産大には「業界トップよりも二位や三位の企業に入り、自分の力で第二位に!!」といった気概が充ちており、私自身もそうでした。それで訪ねたのが日本旅行なのですが、人事担当が学生にも温かな配慮をされる方。「人を大切にする社風」を感じ、「ここで働きたい!!」と思うようになりました。

● 笑い話のようですが、その頃の面接は「先着順」。早起きして最前列に並びなど、徹底的にアピールした。「熱意」が認められたのでしょつ。おかげで入社でき、関西海外旅行支店での団体営業からスタート。今日も懸命に働いています。

● 同支店20年の勤務で支店長となり、市場開発担当部長(兼京滋プロック担当部長)を経て昨年、株式会社日本旅行ハワイ(米国法人)へ社長として赴任しました。様々なカスタマーサービスを提供しながら、現地法人としての収支管理や会社運営を担っています。

私自身「あのEISSでの日々が評価された」 ように皆さんも「辛さ」から逃げずに 乗り越えてほしい。

● ホノルル赴任は「寝耳に水」でしたが、後に聞いた話では「40歳代で英語が話せる者」として、私に白羽の矢が立ったようです。これは「あのEISSでの日々が評価された」ということであり、その嬉しさはなおさら。覚えておきたいのは辛さや悔しさの方が多くとはいえ、今は心から「熱くなつておいてよかった」と思っています。

● そのような学生時代が血となり肉となり、これまでの私を支えてきた。後輩諸君も「辛さ」から逃げず、それを乗り越えた自分を就職活動にぶつけてください。

● 私も何度か、面接官を務めたことがあります。小手先の話術で切り抜けようとする人や、自分を等身大以上に見せようとする人は簡単に見抜ける。大切なのは将来の夢を、正しい日本語で説明すること。多くの人と話し、多くの本を読み、狭い目的意識にとらわれず、堂々と自分を語ってください。

「身体を張った泥臭い努力ができる、 後輩たちに旅行業をめざしてほしい。」

● 「カッコよさ」に憧れ旅行業を志望することを否定しません。但し実際に仕事に就けば、泥臭い努力が必要とされます。競争が激化し続ける旅行業界で生き残るには、知恵と「夫と」身体を張った行動が求められます。お客様にどうすれば喜んでいただ

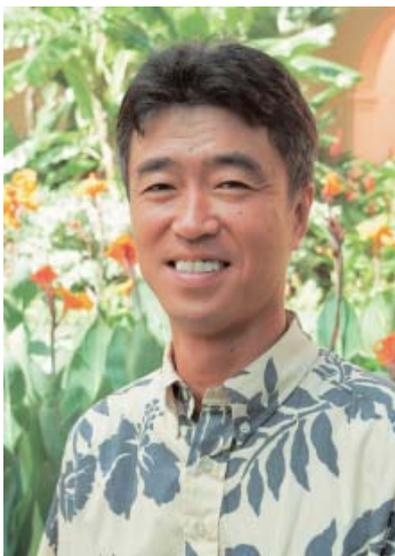
One Point Advice

業界の第一線で活躍する卒業生は多数です。私を含め、後輩支援は惜しみません。積極的に訪問することを薦めます。また、今やネットでの企業情報入手やメールでの交信が主流とはいえ、それらへの過信は禁物。実際に会って話をし、それで得た確信こそが企業選びのコアとなるもの。それがなければ「熱い気持ち」も語れないはずでしょう。

NIPPON TRAVEL AGENCY HAWAII, INC.
米国法人 株式会社 日本旅行ハワイ 代表取締役社長

中川 有二さん

なかがわゆうじ
1981年 法学部卒業・京都府 山城高校出身





Asahiビール株式会社 東京第一支店 量販営業部 副部長
Asahiフィールドマーケティング株式会社 西東京支店長
鈴木 克也さん
すずきかつや
1989年 経営学部卒業・奈良県 生駒高校出身

おもしろそう!!と感じたら
”なんでもやる”ような学生時代。
アサヒスーパードライの奇跡にふれて、
積極果敢に入社を志願。

●KBS京都フジオのパーソナリティをはじめ、旅行のアルバイト等、おもしろそう!!と感じたことは、なんでもやる学生時代。たかさんの人と出会い、たかさんの笑顔と出会う。人が喜ぶこと、楽しいことを提供するの素晴らしさを知ったと実感しました。そして「お酒」の素晴らしさを知ったのもこの頃からだと思います。人それぞれの楽しさのそばに「お酒」があると、もっと楽しさが増していく、と感じました。そんな「お酒」を提供する会社に行きたい!!とまずは漠然と考えてるようになりまして。

●それを迎えた3年次のある日、就職ガイダンスで当社アサヒビールの泉谷直木常務取締役(現在の講演を聞いたのが、私の人生のターニングポイント。泉谷常務は本学卒業生であり、アサヒスーパードライを世に送り出した立役者のひとり。それまでのビール市場はキリンの寡占状態。これを後に逆転した「スーパードライの奇跡」のドラマティックな話、大先輩の輝きにふれて感動したのは私一人ではなかったはず。同時に「泉谷先輩のもとで働きたい」と思い、第二志望をアサヒビールに

One Point Advice

マネジメントサイクルの1つ「PDCAサイクル」の発想を就職活動にも用いてはどうでしょう。それは「目標を設定し計画(Plan)を立て、実行(Do)に移し、その結果を評価(Check)して、改善(Action)点を明らかにし、次の計画に結びつける」というもの。漠然としてではなく、常に目標を作って精一杯取り組むことで、自らの未来を切り開けると信じています。

誇り。

多様な活躍の場を求め、
日本電気株式会社「NEC」に入社。
●大学では「フォークトレイン」サークルに所属。オリジナル曲を中心としたバンドでキーボードを担当し、学生生活を楽しんでいました。
●そんな私が就職活動を始めたのは4年次生になってから。当時はバブル全盛期。周囲の多くが既に内定を得ていました。ところが、憧れだけで楽器メーカー等を受け続けた私は7月になっても内定ゼロ。しかし、どの面接会場でも元気な京都産大の仲間の姿に励まされました。
●「目標と憧れを混同してはダメ。まずは活躍の場が多様なメガカンパニーにも挑戦してみよう」と決意。何気なく行った説明&選考会で運よく進み、8月に日本電気株式会社「NEC」から内定を得ました。

人生を左右する配属希望という「第二の就活」。

●「NEC」のような巨大企業では事業部等によって「会社がちがうのでは」というほど仕事内容が異なります。
●私が恵まれていたのは、入社2カ月間の研修で各事業部の情報を収集、「私はどこに配属されたか」を徹底的に考えられたこと。この2カ月間は、私にとっていわば「第二の就活」結果としてこの配属が私の人生を左右しました。皆さんの中にも同様の「第二の就活」を迎える人がいるはず。内定を得てからも情報収集を続けておくことをお勧めします。

●流通系に興味があったため、情報処理事業グループの第〇A事業部を希望。その後、事業部内でもハードだと聞いていたシステム技術部を志願。配属先を決める面接があり「精一杯頑張るのでこの仕事をさせて欲しい」とアピールし、希望通りの部署に配属されました。

楽しむ。

One Point Advice

後輩の中には「いつかは起業」と考えている人もおられるようですが、成功談だけを聞いて奮い立ってはダメ。その陰に無数の失敗談があることも知って欲しい。それと「恵まれた転職」ができるのも限られた人。企業内において学ぶことは本当に多く、より自分をスキルアップし、経験を積めるような企業を就職活動のターゲットに入れて欲しい。通常、自分を「最高値」で売るのは新卒時。自分の人生を冷静に分析し、4年間の学費を「投資」してくれた父母・保護者に報いる気持ちで、就職活動に取り組んでほしいと思います。

有限会社 芦屋システムプランニング
代表取締役社長
山崎 恵子さん
やまざきけいこ
1989年 経済学部卒業・滋賀県 石山高校出身



「うまい!!」と言って喜んで頂いたときの感動は忘れられません。
●これら6年間を経て10年前、配属されたのが東京本社のマーケティング部宣伝課(現・宣伝部)。広告制作の業務を担当しました。当時、当社は発泡酒について後発。満を持して発売した赤いラベルの「アサヒ本生」の立ち上げに携わるなど、渾身の毎日を過ごしました。お客様に「うまい!!」商品であることを伝えたい。その「心で」「ミニメーカー」しました。
●それからスーパーマーケット等の量販店を担当する量販営業部に異動。今年の4月、東京第一支社量販営業部の副部長を兼務しつつ、アサヒフィールドマーケティング株式会社・西東京支店へ支店長として赴任しました。お客様の「うまい!!」のために、そして「お酒」の価値をもっともっと高めたいために、現在も日々頑張っています。

京都産業大学卒を誇りに「おかげさま」の精神で!!

●私が京都産大に入学していなかったら、人生は大きくちがっていたはず。京都産大卒を誇って突き進んできたからこそ、今、なのです。そんな「神山スピリット」の風はアサヒビールにも吹いています。今の自分があるのは、自分が選んできた道です。だからこそ誇りを持ちチャレンジし続けてこれたと思います。また何事に対しても「おかげさま」と常に感謝することを心がけてきました。今、自分がこうして心おきなく仕事に打ち込めるのはすべて周りの皆様のおかげです。親や友人や家族、会社の仲間、お客様、そして我が母校京都産業大学のおかげです。「感謝」する心を常に大切にこれからも生きていきたいと思えます。

代表して語ります



学生就職アドバイザー
井上 昌明 いのうえまさあき
法学部4年次生・広島県 福山明王台高校出身
食品総合商社「株式会社かね善」に就職予定

学生就職アドバイザーもコメント!!

就活の悩みや疑問はどんなことでも学生就職アドバイザーに相談を!!

●僕は来春から「かね善」という食品総合商社に勤務する予定ですが、そこに至るまでのノウハウを後輩たちに伝えるべく、進路センターで「学生就職アドバイザー」をしています。登録している学生就職アドバイザーは現在61名。僕もそうだったように、厳しい就活を乗り越えたアドバイザーと話す「だけ」でも気が晴れる。特にこれから悩むことも多い就職活動の中でも、ひとりで落ち込む必要はない。僕らも全員が就職活動の中で悩んだり落ち込んだりしている。辛いのは自分だけじゃないことを知り、「暗いトンネルの先にある明るい未来」を見つめて頑張ってください。

●だから何があっても「どこでもいいや」とは思わないで欲しい。何度も不合格通知を受け取ると、どうしてもそんな気持ちになりがちだけど、そんな気持ちで就職しても続かない。これは自分への戒めでもあるけれど、就活の目標は「入社すること」じゃない。「入ってからいかに頑張れるか」また、「働きたいを見つけれれるか」をテーマに活動しなければなりません。

●また「どこでもいいや」と思っていたら、「どこも採用してくれない」のが就活。自分の中の「この会社に入って活躍したい!!」という気持ちをいかに高めるか、これが就活成功の鍵といえるでしょうね。

来る1月14日(土)に開催する「就活祭」へぜひ参加を!!

●就職活動中の人から「どんな業界や仕事が自分に適しているかわからない」という声を聞くこともあります。でも、実際は皆同じように悩んできました。学生就職アドバイザーの仲間で大手スーパーの販売系に就職を決めた仲間は最初、事務系をめざしていたし、大手金融機関に勤める予定の仲間も当初は志望が定まっていなかった。まずは手当たり次第でも企業説明会などの就活イベントに参加し、数ある出会いの中から「ビビッ」とくる業界・企業に絞ればよいと思います。ただしそれには感度の優れたアンテナが必要。多くの先輩や企業人と語り、新聞を読み、ニュースを見て、社会に対する感度を研ぎ澄ましておきましょう。なかでも入社3年までの「若手」と呼ばれる人と話すのがお勧め。その人との話に共感が得られたり、フィーリングが合うなと思えたら、会社選びは確実に一歩前進します。

●それには来る1月14日(土)、僕らがメインスタッフとして開催する「就活祭」に参加すべきです。今は社会人として活躍している歴代の学生就職アドバイザーも数多く来られ、各々のリアルな業界解説や就活成功事例が聞かれます(失敗談も興味深い!!)。3年次生の今は情報収集の時期。このチャンスを見逃してはダメ。4年次生での「本番」に向け、積極果敢な自分をつくる良いきっかけとなる「就活祭」。絶対に参加して欲しいと思います。

進路センターで待ってます!!

●自分たちの経験を通し、就活に取り組む後輩たちを支援するのが僕ら学生就職アドバイザー。大学受験の時よりも、就職活動は、より「人間力が評価」される場。だから嬉しさは倍。そんな感激をめざし、僕らが伝授するノウハウに自分の個性を表す手法も加え、積極的に頑張ってください。さらに詳しく聞きたい人は1号館1階の進路センターへ。待ってます!!

今年で6年目を迎える学生就職アドバイザーは次のようなサポートを行います

- 4年次生内定者の貴重な体験を活かした「気づき」アドバイス
- 就職活動への意識づくりと進路センターと関わるキッカケづくり
- 学生との個別相談や面談
- 内定者体験談フォーラム
- 女子学生向け就職支援セミナー等のイベント企画
- 就職ガイダンスをはじめとする進路センター行事へのサポート
- 就活祭の企画・運営・実行



October 22 乱舞祭

第40回を迎えた伝統の神山祭をはじめ、「燃える京都産大!!」を象徴するイベント続々の秋。披露する技やパフォーマンスの鍛練に、模擬店や部展の準備に、まさしく“今どきの学生とは思えない”がんばりを続けた仲間たち。その奮闘ぶりこそ、京都産業大学の誇りです!!

●10月22日[土]、神山ホールを舞台に行われた第34回「乱舞祭」。「この乱舞祭は我々全学応援団の集大成であり、公正・明朗、やり始めたことは何があっても最後まであきらめない「神山スピリット」を具現化した、継承、雄飛させる場である」と野上遼央第41代目団長が開会挨拶で述べたとのりの演舞を披露。創立40周年を迎えた大学と、そこに学ぶすべての学生たちへ「熱いエール」が捧げられました。
PHOTO01 02 オープニングを飾った吹奏楽部による第一部ステージマーチングショー 03 04 躍動感みなぎる第二部チアリーダー部ステージ 05 第三部ファイティングステージで全学生にエールを送る野上遼央第41代目団長 06 京都産大への熱い想いを託した水戸忍副団長による渾身の演舞 07 学歌斉唱による感動のフィナーレ



がんばる仲間の奮闘 グラフファイティ

October 23 追分寮祭

●10月23日[日]、雨模様を吹き飛ばす勢いで開催された第40回「追分寮祭」。国際交流会館に暮らす留学生や寮祭の女子学生も加え、地元の方々を中心とした「交流の輪」がさらに深まった秋の一日。連日の徹夜で準備に取り組み、その心意気をアピールした彼等は「さすが追分寮生!!」のひとこと。
PHOTO08 09 午前9時30分の開会式に全員集合した寮生たち……中には「かぶりもの」で早くもデモンション最高潮な者も 10 11 地元でも旨い!!と評判の模擬店ではキャベツ焼やタコヤキなどに加え「九州男児からの贈り物」として大分名物「やせうま」が登場 12 寮祭の女子学生たちはランクフルトとバインアイスを出店 13 午前11時に始まった選抜班対抗「女装衣装コンテスト」で優勝した3班のウォーターボーイズ 14 午後に行われた全員参加の班対抗「パフォーマンスコンテスト」で第1位となった6班のダンス



October 29 京都パープルサンガキャンパス・スペシャルデー

●10月29日[土]、前節でJ1復帰を決めた京都パープルサンガが好敵手・アビスパ福岡を西京極に迎えた一戦が「キャンパス・スペシャルデー」京都産業大学として開催。これは地元チームのサポートをとおして、本学と地域社会のつながりをさらに強化しようとする企画。オープニングやハーフタイムに登場した全学応援団・吹奏楽部とチアリーダー部の応援を得てサンガが「3-0」で快勝。J2優勝へ「王手」がかけられました(次節11月6日・草津に勝利して優勝決定)。
PHOTO15 スタジアムに電光掲示された本学40周年のメッセージ 16 17 ゲームを前に選手とサポーターに熱気を与えた吹奏楽部によるマーチングドリル 18 19 前半の1点先制で熱さが増したチアリーダー部のハーフタイムショー



●11月3日[祝・木]から6日[日]まで、4日間わたって開催された第40回「神山祭」。今年は最終日以外、例年になく晴天に恵まれて来場者も増。関西で「最も盛り上がる学園祭」の評判そのもの、京都産大生の熱さが爆発した神山祭となりました。

November 3.4.5.6 第40回神山祭

PHOTO 模擬店大賞受賞団体 20 Aブロック「ロシア語専修のピロシキ」～熱いです!! 21 Bブロック「丸3山ゼミの豆乳ドーナツ」～受賞の決め手は看板のカッコよさ? 22 Cブロック「ピンクマンボのロスティ」～ジャガイモ60kgのスライスで腕が鍛えられました 23 Dブロック「硬式庭球同好会APPLEの焼き鳥」～チームワークの勝利です 24 Eブロック「営2市川ゼミの焼き鳥」～市川先生のおかげです 25 Fブロック「クレークラブのたこやき」～模擬店の王道を行っての受賞に感激 26 Gブロック「ピリヤードサークルCUEの和風チヂミ」～コスプレHGでアピールしました!! 27 Hブロック「子ども触れ合いサークルめ～ぶるのサーターアンダギー」～めんそうな笑顔で大賞!! 28 Iブロック「英語研究会のはし巻き」～愛情たっぷりの美味!! 29 Jブロック「Let's男塾ドンフライの鳥軟骨唐揚げ」～男気と腕力なら誰にも負けない!! 30 Kブロック「写真部のホットドッグ」～地味にコツコツ焼いてます 31 Lブロック「海人のランクフルト」～思いやりならナンバーワン 32 Mブロック「connyの手作りアクセサリー」～ぜんぶひとりで手づくりしました!! ウレシイです!!



PHOTO 部展大賞 33 34 35 最優秀賞「学生健康保険部会」～今年のテーマは「心の健康」だったので三連覇を果せて私たちの心も健康!! 36 37 優秀賞「コロナキョク」～昨年のサギタウス24号で紹介されてメンバーも急増!! 作品の質も量もアップしての受賞です 38 39 優秀賞「天文同好会」伝統のプラネタリウムとスライドショーはさすがに圧巻!!でよ 40 41 新人賞「ことごと」琴サークルによる「隠れ家的演奏会」でございますわよ 42 43 新人賞「アチエ復興支援プロジェクト」サギチャレ継続のスマトラ島沖大地震写真展です!! この惨事を風化させてはけません!!



ふりかえれば、未来が見える。

21世紀の京都産業大学をめざし、この10年間で次々と完成していった施設群。

2005年、京都産業大学は創立40周年を迎えました。シリーズ最終回は、新田政則・前学長が就任した1996年から、総合体育館や10号館など、新施設が完成していった21世紀目前の頃を経て、2002年の坂井東洋男学長就任や2003年の12号館完成、2004年の法科大学院開設など、創立40周年に向けてめざましい発展を遂げてきた今日に至るまでの10年間。ふりかえることで、未来を見つめていきましょう。

1996 平成8年

- 4月 (財)大学基準協会に維持会員として加入
神山研修室棟完成
- 10月 新田政則、学長就任
- 大学にふさわしい要件を備えているかどうかを、客観的に評価する機関「大学基準協会」に本学が加入した。
- 開学(昭和40年)時から、教鞭を執ってきた新田政則経済学部教授が、3代目学長に選出された。
- 神山研修室棟が、静海市原町の市原コースコートに併設された。ゼミナールなどの研修に利用されている。
- 陸上競技部、小坂田淳(1997年経済学部卒)がアトラクタ五輪代表(1,600mリレー)に選出された。

1997 平成9年

- 3月 総合体育館・課外活動棟・神山コロシアム(野外ステージ)・神山自然散策路完成
- 4月 アドバンスドゼミ新設(旧「一般教育研究センター」)
- 10月 市バス臨時直行便運行開始
- 総合体育館のメインアリーナは、ほぼ52m×52mの正方形。床面積約3,000㎡(1、2階合計)。神山コロシアムは、すりばち型の地形を利用して円形野外ステージをつくり、約2,000人収容の屋外イベント施設である。

1998 平成10年

- 総合体育館は阪神・淡路大震災の教訓をふまえて、災害時における地域住民の避難場所となるように設計された。大学と地域が一体となって取組む、総合防災訓練が実施された。
- 市バスの本学乗り入れ直行便が、愛称募集で「Express 京都産大」「Express 北大路バスターミナル」と名付けられた。停留所名も「産業大学前」から「京都産大前」に改称。
- 3月 入学試験後期(3月入試)導入
- 6月 アルカラ大学(スペイン)と交流協定締結
- 9月 ニューヨーク州立大学と交流協定締結
- 10月 国際交流センター設置
- 11月 国際交流会館完成
- 海外留学を希望する学生への情報提供やアドバイス、海外からの留学生への支援などの窓口となる、国際交流センターが誕生した。
- 国際交流会館の開設で、文化・学術交流の新しい拠点が出来た。海外からの留学生、研究者と本学を含めた地域社会との交流の輪が広がること期待されている。

1999 平成11年

- 1月 カリフォルニア大学リバーサイド校(アメリカ)と交流協定締結
- 3月 10号館完成
- 4月 全学生にユーザーID交付
- 6月 情報教育にLMS採用(603台の大量導入)
- 10月 緊急車両進入路完成
- 「マルチメディアの拠点」となる10号館が完成した。学内ネットワークの核として、情報教育ゾーン、語学教育ゾーン、学生サービスゾーンの3つのゾーンに分れている。
- 学生全員にユーザーIDを交付。すべての学生がキャンパスにいながらにして、全世界にアンテナをはすことができるようになった。
- 駒井正常務理事が、理事長に就任した。



2000 平成12年

- 1月 対外経済貿易大学(中国)と交流協定締結
- 3月 8号館増築完成 11号館完成
- 4月 文化学部増設
- 5月 エスカレーター完成
- 10月 新田政則学長再選
- 食堂、コンビニ、旅行代理店、書籍・文具、学生ラウンジなどが集った8号館完成。学生に人気があるマクドナルド店も生まれた。
- 第7番目の新しい学部である、文化学部(国際文化学科・定員200人)が誕生した。
- 年を春学期、秋学期に独立させて第1セメスターから第8セメスターまでに設定する、「セメスター制」が始まった。集中的に、系統的に、勉学を進める利点がある、と期待されている。

2001 平成13年

- 1月 「建学の碑」建立
- 3月 オックスフォードブルックス大学(イギリス)と交流協定締結
- 4月 パジャヤラン大学(インドネシア)と交流協定締結
- 4月 研究機構設置(日本文化研究所、世界問題研究所、先端科学技術研究所、総合学術研究所に改組)
- 8月 新「松の浦セミナーハウス」(滋賀県)完成
- 10月 ライプチヒ大学(ドイツ)と交流協定締結
- 11月 「学祖 荒木俊馬先生と京都産業大学——建学の心をたずねて」刊行
- 創設者荒木俊馬先生が自ら作詞した学歌を鞍馬石に刻んだ「建学の碑」が、本館の玄関横に設置された。
- 琵琶湖畔のリゾート、気分を満喫し、合宿や研修ができる、ログハウス調の新「松の浦セミナーハウス」が誕生した。
- 本学を創設した荒木俊馬先生の心と人生の記録「学祖 荒木俊馬先生と京都産業大学——建学の心をたずねて」刊行。

2002 平成14年

- 1月 ペルージャヤ外国人大学(イタリア)と交流協定締結
- 3月 第4研究室棟完成
- 4月 大学院マネジメント研究科(マネジメント専攻)修士課程設置
- 9月 プーキン記念ロシア語大学(ロシア)と交流協定締結
- 10月 坂井東洋男、学長就任
- 12月 リヨンカトリック大学(フランス)と交流協定締結
- 待望の女子学生寮「葵寮」が植物園の南側に開設された。
- 体育の正課授業、課外活動を推進するための、新しい管理棟とトレーニング棟が総合グラウンドに完成した。旧来よりも延床面積が約3倍に広がった。
- 坂井東洋男外国語学部教授が、4代目学長に選出された。

2003 平成15年

- 3月 賀茂川寮完成 12号館完成
- 4月 理学部の数学科、物理学科、計算機科学科をそれぞれ数理科学科、物理科学科、コンピュータ科学科に名称変更
- 10月 メキシコ国立自治大学(メキシコ)と交流協定締結
- 総合グラウンド近くに、体育系クラブ専用でワンルーム形式の体育寮(賀茂川寮)が完成した。
- 2号館(理学部)と3号館(外国語学部)をコの字形に結ぶ12号館が完成した。緊急時の避難にも配慮された設計。

2004 平成16年

- 3月 5号館建て替え完成
- 4月 13号館(法科大学院棟)完成
- 4月 大学院法務研究科(法科大学院)設置
- 9月 博士後期課程設置
- 12月 「教学」之源流」刊行
- 梨花女子大学(韓国)と交流協定締結
- 1968年にできた5号館(経済学部、経営学部)が、建て替えられた。最新の設備で、学生の修学を支援している。
- 新時代の法律家の養成をめざす、法科大学院が誕生した。13号館(法科大学院棟)には、模擬法廷が設置されている。
- キャンパスでの学習と、社会で実務を体験するインターンシップを交互に繰り返す本学独自の学習プログラムが、文科省の現代GIPに採択された。
- 廣岡正久法学部教授が、理事長に就任した。
- アテネオリンピック、ヨット男子セーリング470級で轟賢二郎OB(1999年経済学部卒)が銅メダルを獲得。同オリンピック、陸上1,600mリレーで小坂田淳OB(1997年経済学部卒)が主軸となり4位入賞。

2005 平成17年

- 2月 本学が全額出資の株式会社「サギタリウス企画」設立
- 4月 創立50周年(2015年)をめざした「ブランドデザイン」の策定
- 8月 大学院外国語学研究科(英米語学専攻)修士課程設置
- 11月 創立40周年記念式典
- 本学が全額出資した「サギタリウス企画」が誕生した。学生サービスを基本に、自動販売機の設置管理、損害保険、総合ビルメンテナンスなどの業務を展開している。
- 京都産業大学がめざす大学像をすべての本学構成員が共有し、大学改革に取り組み「ブランドデザイン」が策定された。
- 11月26日(土)、創立40周年記念として、第一部「ヘルプ受賞者を囲むフォーラム」「21世紀の創造」、第二部記念式典、第三部祝賀会が開催。

新しい時代の始まり。

本年、創立40周年を迎えた京都産業大学。伝統と呼ぶにはまだ浅い年月かもしれないが、学祖・荒木俊馬先生が掲げた「建学の精神」が、脈々と受け継がれてきたこの40年をひと区切りとし、次代を見つめて催された記念行事をご紹介します。

「あいさつ」●創立40周年の節目に当たり、大学の歴史、とりわけ創立時の高い志を肝に銘じておきたい。大学の歴史として決して長くはない、この40年の間に、本学は奇跡とも称えられる発展を遂げてまいりました。教育研究に熱い血を注がれた先人諸氏、そして何よりも、母校を背負う卒業生の奮闘の賜物であります。50周年、100周年に光輝を放っている大学をめざして、更なる発展を期したい。40年の歴史を心に刻みつけることは、守りに入るのではなく、また、時代や社会の動きに敏感であることは、その潮流に押し流されることを意味しません。今こそ、光を放っている本学の「建学の精神」は、建学当時の社会の潮流に迎合するものではありませんでした。混乱する日本社会に個性豊かに屹立する大学、清新さを失わぬ大学であらしめたい、との切なる思いを、各種の周年行事の企画にこめました。「温故知新」ならぬ、「ふるきをたずね、新しきを創る」(温故知新)の決意を新たにしています。

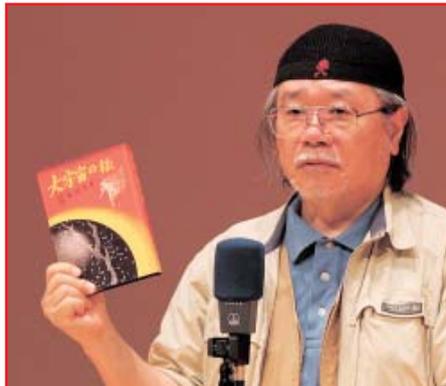
京都産業大学学長 坂井 東洋男

※写真は「京都産業大学DAY in 京都」での開会挨拶



9 September 10 京都産業大学 in 夜久野 建学の「ころ」をたずねて

●9月10日「土、京都府夜久野町「夜久野ふれあいプラザ」にて、町と共催で「京都産業大学 in 夜久野」を開催。メインプログラムは「銀河鉄道999の空間軌道〜荒木俊馬博士・私の恩師」と題したアニメ界の巨匠・松本零士氏による記念講演。学祖・荒木俊馬先生が本学創設前に暮らされ、松本零士氏に多大な影響を与えた「大宇宙の旅」を執筆された夜久野。同地で京都産大「建学のころ」をたずねる一日となりました。



復刻された「大宇宙の旅」を手に語る松本零士氏。「この本は自分の原点。この本に出会わなければ、今のようなマンガは描いていなかった。荒木先生は私の人生の恩師」と、宇宙への想いと、その魅力を伝えた荒木俊馬先生について語られました。なお、創立40周年の記念品として絶版となっていた「大宇宙の旅」を限定復刻。その他の荒木俊馬先生著書をふくめて夜久野図書室へ寄贈。「荒木俊馬コーナー」が設置されることになりました。

10 October 8 サタデージャンボリー秋編 創立40周年記念植樹

●子供たちとのふれあいをテーマにキャンパスを開放する「サタデージャンボリー」。その'05秋編が開催された10月8日「土」。イベントのひとつとして「創立40周年記念植樹」が行われました。



創立40周年を記念して植樹された桜。50周年や100周年を迎える春、どのように咲き誇るかが今から楽しみです。

11 November 12 朝日・大学パートナーズシンポジウム 「フリーター・ニートを考える」 親のため・子のための元気社会をつくる

●朝日新聞大阪本社との共催によって行われた「朝日・大学パートナーズシンポジウム」。テーマは「フリーター・ニートを考える」。親のため・子のための元気社会をつくる。



第一部講演として「現役若者事情」をテーマに熱く語られた 玄田有良氏 東京大学社会科学研究所助教授。

●「やりたいことが見つからない」、「働く自信がない」、そんな若者にどう接し、どんなきつかけを、提供するか、また深刻化するフリーター・ニートの社会問題に対して、大学をはじめとする教育機関、地域、家庭がいかに連携していくか。講演、パネルディスカッションから、活力ある元気社会をめざしての意見が提示されました。



第二部パネルディスカッション「家庭・地域・教育現場の連携によるキャリア教育」パネラーの方々。左から小杉礼子氏(独立行政法人労働政策研究・研修機構副統括研究員)、高橋淳敏氏(NPO法人ニュースタート事務局関西・訪問担当)、森山祐輔氏(株式会社ふわふわスペース研究所・代表取締役)、鬼塚哲郎(京都産業大学・化学学部助教授)。

パネルディスカッションのコーディネーターを務めた本学キャリア教育研究開発センター長・吉田裕之(経営学部教授)。



※主催/京都産業大学、朝日新聞大阪本社 ※後援/大阪府教育委員会 ※会場/朝日生命ホール(大阪市)

京都産業大学 DAY in 京都

セッション1/「若者キャリア相談の現場から」を講演された鈴木紀子氏(私のしごと館キャリア形成事業部セミナー相談課長)。

●これまでの教育懇談会に、企業関係者や卒業生を対象にした講演会などのイベントをジョイント、全国7ヶ所(本学を含む)で開催された「京都産業大学 DAY」。その総括ともなる「in 京都」が11月13日「日」神山ホールにて行われました。



セッション2-2/キャリア形成支援教育の成果を報告した3名の受講学生。左から奥村麻満(経営学部4年次生)、山田千尋(文化学部3年次生)、中井健二(経済学部1年次生)。

セッション2-1/中川正明キャリア教育研究開発センター運営委員(進路センター事務部長)による「京都産業大学キャリア形成支援教育の取組みについて」の報告。

●それらセッション終了後の午後4時には「創立40周年記念コンサート」を開催。本学卒業生である『あのねのね』の原田伸郎氏、清水國明氏があの「爆笑ヒットソングを交えてトーク。学生時代を懐かしみ母校への想いを熱く語られました。



※主催/読売新聞社、NHK、京都産業大学 ※後援/外務省、文部科学省 ※協賛/トヨタ自動車、日本アイ・ピー・エム、日本航空、清水建設 ※協力/世界物理年日本委員会

ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム「21世紀の創造」

●本学が創立40周年を迎えた2005年、それはアインシュタインが光電効果の理論、ブラウン運動の理論、特殊相対性理論という3つの革命的な論文を発表した1905年から100年にあたる年。国連も総会で「世界物理年(World Year of Physics)」と定めています。

●これらを記念し、11月26日「土」神山ホールにて開催されたノーベル賞受賞者を囲むフォーラム「21世紀の創造」。基調講演は1973年にノーベル物理学賞を受賞された江崎玲於奈・茨城県科学技術振興財団理事長。本物理学部の益川敏英教授、神戸大学の松田卓也教授、それぞれの意見表明の後、江崎玲於奈博士と東京大学の島まり教授も交え、人類と地球の未来を見つめたパネルディスカッションが行われました。

※このフォーラムは今年で17回目。今年も本学以外にも金沢と東京で開催されました。



「奇跡の年から100年」物理学から科学へをテーマに講演された江崎玲於奈氏(1973年ノーベル物理学賞受賞者)。



独創的な意見表明をされた松田卓也氏(神戸大学理学部教授)。



素粒子論の世界的権威として意見表明した本学の益川敏英理学部教授。



デイスカッションのコーディネータを務められた島まり氏(東京大学教授)。

創立40周年記念式典・祝賀会

●経済学部と理学部、2学部での開学から40年。7学部14学科に約1万3000人の学生が集う二拠点総合大学となつた京都産業大学。それら発展を支えられた関係各位への謝意をあらわすと同時に、さらなる飛躍を遂げるための出発点として11月26日「土」、市内のホテルで創立40周年の記念式典・祝賀会が開催されました。

廣岡正久・学校法人京都産業大学理事長による式辞。



祝辞を頂いた山田啓二(京都府知事)。

情報
満載



NEWS

本学硬式野球部の平野佳寿投手がオリックス・バファローズの希望入団枠内定選手に!!

11月18日、大学生・社会人ドラフト会議において本学硬式野球部の平野佳寿(経営学部4年次生)投手が日本野球機構事務局より、オリックス・バファローズの希望入団枠内定選手として発表されました。平野投手は会見で「プロ野球選手という小さい頃からの夢が叶えられたことを本当に嬉しく思います。開幕一軍投手をめざしてチームに貢献したい」とコメント。その会見中にバファローズの中村監督から「先発投手として頑張ってください」と電話が入り、「期待に応えられるよう頑張りたい」と意気込みを見せました。11月27日には仮契約を結び、背番号は「16」に決定。

<平野佳寿(ひろのよしひさ) 投手/プロフィール>

●右投右打・京都府立鳥羽高校出身 ●関西六大学野球連盟リーグ記録/リーグ最多勝利通算36勝(2002~2005年)・1シーズン最多奪三振98(2005年秋季リーグ)・リーグ通算最多奪三振404(2002-2005年) ●個人戦績/最優秀選手賞2回・最優秀投手賞4回・ベストナイン4回・日本代表選手選出1回

INFORMATION

年末年始の読書は 本学教員の著書をぜひ!!

今年の8月から11月、次の教員著作が刊行されました。年末年始や冬期休暇中の読書にぜひどうぞ。

- 『給与所得者の必要経費』小池和彰 経営学部助教授(著) 税務経理協会(刊)
- 『結社の世界史(4) 結社のイギリス史』クラフから帝國まで 川北稔 文化学部教授(編) 綾部恒雄(監修) 山川出版社(刊)
- 『岩波数学入門辞典』青木和彦 理学部客員教授(他編) 岩波書店(刊)
- 『世紀を超えるフロンティア』時田浩 文化学部助教授(他著) 市川明(他編) 朝文堂(刊)
- 『エッセンシャル・アカウンティング』藤井則彦 経営学部教授(著) 同文館出版(刊)
- 『環境形成と農業』新しい農業政策の理念を求めて『イギリスにおける食料政策と環境政策』並松信久 経済学部教授(特別寄稿) 柏久(著) 昭和堂(刊)
- 『はじめて経営学を学ぶ』佐々木利廣 経営学部教授(他編) 箕輪雅美 経営学部助教授(他執筆) ナカシヤ出版(刊)
- 『立地管理と経営環境論の研究』渡辺利得 経営学部教授(著) 嵯峨野書院(刊)
- 『ドラゴン様式』算数カドリル『ドラゴン様式』数学カドリル 中野レヘル編『ドラゴン様式』数学カドリル 数学I・A『ドラゴン様式』数学カドリル 数学II・B『ドラゴン様式』数学カドリル 数学III・C 牛滝文宏 理学部助教授 三田紀房 モーニング編集部(編) 講談社(刊)

休日も開館!! 時間も延長!! 秋学期試験の準備も図書館で

<日曜・祝日に利用できます!!>

- 12月23日(金)・25日(日)
- 1月6日(日)・7日(月)・15日(日)・22日(日)・29日(日)
- 開館時間/午前9時30分から午後5時
- ※3月19日(日)は午前8時45分から午後4時30分まで開館

<開館時間を変更する日>

- 12月27日(火)・1月6日(金)
- 1月30日(日)~3月28日(火)の平日、3月31日(金)
- 開館時間/午前8時45分から16時30分
- 1月20日(金)・23日(日)・27日(金)
- 開館時間/午前8時30分から午後9時

<その他(右記以外)の平日:土曜日・日曜日>

- 平日/午前8時30分から午後8時まで開館
- 土曜日/午前8時30分から午後6時まで開館
- 日曜・祝日/休館

秋学期「定期試験」の 準備を始めよう!!

平成17年度の「秋学期定期試験」は2006年1月23日(日)から2月8日(水)まで(入試期間の1月30日(日)から2月1日(水)と2月4日(土)を除く)履修要項(試験 a-12~a-15)や掲示板の注意事項を必ず確認しておいてください。また、勉強の準備はもうそろそろ、年末年始の体調管理にも十分に気をつけてください。

<秋学期定期試験時間割>

「筆記試験・レポート試験」掲示場所

- 1号館中庭掲示板(定期試験実施科目)
- 5号館掲示板(定期試験実施科目)

★試験実施曜日や時限が平常の授業曜日と異なる場合があるので要注意。掲示発表後でも「実施方法・日時・教室等」の変更や試験科目の追加もあり、発表後も掲示板をチェックしてください。

<レポート試験について>

- 「テーマ」枚数・提出期限・提出先」を確認し、指定どおりに提出してください。期限(時間)に遅れた場合は失格になります。
- 提出方法/本学指定の用紙・表紙を使用し、表紙はすべて黒か紺色(ペンまたはボールペン)で記入し、指定された窓口へ本人が学生証を提示し、提出してください。
- 受付時間
平日/午前8時45分~午後4時30分まで
(昼休み午後1時~午後2時)

<追試験について>

- 「定期試験」を一定の理由で受験できなかった場合に限り、願い出ることができる制度です。詳しくは、履修要項「試験」追試験「a-12」~「a-13」を参照してください。
- 卒業判定の結果は3月上旬に実施される全卒業判定会議の終了後、保証人宅に郵送されます。電話等による問い合わせは受付していません。

<在学生履修ガイダンスについて>

- 来年度の「在学生履修ガイダンス」は3月29日(水)と30日(木)です。詳細は1月上旬(予定)に掲示します。必ず確認してください。

第1回「京都産業大学図書館 書評大賞」入賞者発表

今年6月から9月の間に募集、全125篇の応募があった第1回「京都産業大学図書館書評大賞」。選考の結果、入賞となったのは次の方々。大賞(副賞図書券10,000円)、優秀賞(副賞図書券5,000円)、佳作(副賞図書券3,000円)それぞれ、11月の表彰式にて授与されました。

……書評対象となった図書名

- **大賞** 中嶋 寛 / 経営学部3年次生
日本中小企業の適応と変化
- **優秀賞** 貴治 利之 / 外国語学部中国語学科4年次生
夜回り先生と夜眠れない子どもたち
- 磯和真里恵 / 法学部3年次生
虚無への供物
- 中山 彩佳 / 理学部物理科学科3年次生
スノーボールアース
生命大進化をもたらした全地球凍結
- 中尾 仁美 / 法学部1年次生
教養としてのロースクール小論文
- 橋爪 陽佑 / 経営学部2年次生
日本縮小タウンサイジング社会への挑戦
- **佳作** 橋原 慎平 / 文化学部4年次生
無情の世界
- 原田 恵明 / 経営学部3年次生
身体感覚を取り戻す「腰・ハラ文化の再生
- 田中 愛子 / 法学部3年次生
自閉症裁判レクチャーハンダ帽男の「罪と罰」
- 前田 裕介 / 法学部3年次生
立法過程
- 秋田まどか / 経営学部3年次生
なぜノキアは携帯電話で世界になり得たか
携帯電話で「IT革命」を起す
- 曹 佳浩 / 経営学部3年次生
北京胡同に生きる
- 今井 美央 / 経営学部1年次生
21世紀企画書 日本型インターネットの可能性
- 高橋 亮宏 / 経済学部3年次生
ホーキング、未来を語る
- 丸尾麻由美 / 経営学部2年次生
さらさらひかる
- 山崎 真司 / 法学部3年次生
成功への情熱 Passion

平成17年度サギタリウス・チャレンジ「エッセイコンテスト」入賞者発表

「10年後の私」をテーマに募集、多数の応募があったサギタリウス・チャレンジ「エッセイコンテスト」。その入賞者表彰式が12月13日に行われ、次の方々に各賞が授与されました。

- **サギタリウス賞**(賞状・盾・奨励金5万円)
貴治利之 / 外国語学部中国語学科4年次生
- **優秀賞**(賞状・盾・奨励金3万円)
堀江麻彩 / 法学部3年次生
- 田口誠 / 工学部生物工学科2年次生
- **入賞**(賞状・盾・奨励金1万円)
松井智弘 / 経済学部4年次生
石倉伸起 / 経営学部3年次生
中西壮平 / 外国語学部言語学科ロシア語専修4年次生
内田貴子 / 外国語学部ドイツ語学科2年次生

平成18年度学費について

平成17年9月22日に開催された学校法人京都産業大学理事会において、平成18年度学費等が次のとおり決定しました。

平成18年度学費

● 平成18年度の学部学費については、京都産業大学学則第43条第3項、大学院学費については、同大学院学則第28条第3項により、平成18年度以降の授業料、実験実習費及び教育充実費の合計額は、毎年度前年度の合計額に国家公務員の給与改定に関する人事院勧告指数(定期昇給率を含む)に、4%を加算した指数を乗じて得た額を加算した額の範囲内とする」と規定されています。平成17年の人事院勧告は、平成17年度の国家公務員一般職給与について、官民給与の逆較差(0.36%)を解消するため、2年振りに月例給の引き下げ改定などの勧告がありました。この結果、国家公務

〈平成18年度 学部学費／在学生〉

学部	授業料	教育充実費	実験実習費	合計額	
経済学部	春学期納入額	345,500円	104,500円	450,000円	
	秋学期納入額	345,500円	104,500円	450,000円	
経営学部	計	691,000円	209,000円	900,000円	
外国語学部	春学期納入額	375,500円	124,500円	500,000円	
	秋学期納入額	375,500円	124,500円	500,000円	
文化学部	計	751,000円	249,000円	1,000,000円	
理学部 (数理科学科・数学科)	春学期納入額	477,000円	124,500円	34,000円	635,500円
	秋学期納入額	477,000円	124,500円	34,000円	635,500円
理学部 (物理科学科・物理工学科) (コンピュータ科学科・計算機科学科)	計	954,000円	249,000円	68,000円	1,271,000円
工学部	春学期納入額	477,000円	129,500円	63,000円	669,500円
	秋学期納入額	477,000円	129,500円	63,000円	669,500円
工学部	計	954,000円	259,000円	126,000円	1,339,000円

〈平成18年度 大学院学費〉

研究科	授業料	教育充実費	実験実習費	合計額	
経済学研究科	春学期納入額	255,500円	66,500円	—	322,000円
	秋学期納入額	255,500円	66,500円	—	322,000円
マネジメント研究科	計	511,000円	133,000円	—	644,000円
法学研究科	春学期納入額	338,500円	71,000円	41,000円	450,500円
	秋学期納入額	338,500円	71,000円	41,000円	450,500円
外国語学研究科	計	677,000円	142,000円	82,000円	901,000円
理学研究科	春学期納入額	640,000円	90,000円	—	730,000円
	秋学期納入額	640,000円	90,000円	—	730,000円
工学研究科	計	1,280,000円	180,000円	—	1,460,000円
法務研究科	春学期納入額	640,000円	90,000円	—	730,000円
	秋学期納入額	640,000円	90,000円	—	730,000円
法務研究科	計	1,280,000円	180,000円	—	1,460,000円

学費納入期間

● 春学期 / 4月1日～4月30日
● 秋学期 / 10月1日～10月31日

学生健康保険互助会費の徴収方法の変更

● 平成17年度まで学生健康保険互助会費については、年額2,500円を春学期で徴収しておりましたが、平成18年度からは学費と同様に分納制とし、春学期に1,250円、秋学期に1,250円を徴収させていただきますことになりました。

員の定期昇給(1.72%)、ペア(△0.36%)、計1.36%となり、これに4%を加算すると、学則上では5.36%の範囲内で学費を改定できることとなります。

しかしながら、昨今の社会や経済の状況、学費支弁者を取り巻く経済環境、他大学の状況といった外的要因とともに、近年における学費の延納および分割延納出者の増加といった内的要因も考慮し、平成18年度学部学費、大学院学費とも据え置く(各年次生とも平成17年度各年次生学費と同額)ことになりました。

profile

ニュージーランド・クライストチャーチ・ポリテクニク校を卒業した1982年からの1年間、同窓会交換留学生として京都産業大学外国語部に在籍。87年にニュージーランド・カンタベリー大学を卒業。同年、伊藤忠商事に入社(シドニー支社勤務)。89年から同東京本社。92年に英国クランフィールド・スクール・オブ・マネジメントに入学し93年にMBAを取得。同年、第一勧業銀行(現・みずほ銀行)に入行しロンドン支社勤務。96年にニュージーランドテレコム社、2002年にオーストラリア・テルストラ社、それらを経て2004年8月からEDS Japan(本社・米テキサス州)の代表取締役社長。



- 04年の計上収益が207億ドル以上、フォーチュン誌ランキング95位、世界60カ国に拠点を持つITアウトソーシングのグローバルカンパニー「EDS」の日本法人代表取締役社長。このキャリアのはじまりが京都産大への留学だそうですが、そもそもなぜ日本だったのですか?
- 父は戦後、下関に2年間ほど進駐しており、母も羊毛製品の取引で何度も訪日していました。そのような両親は牧場と共に民宿も営み、日本からの旅行者を頻りに迎えていました。
- だから私にとって日本は幼い頃から身近な国。高校を16歳で早期卒業した時、クライストチャーチ・ポリテクニク校の日本語コースに進んだのは自然なことでした。それで1年間の日本語学習を経て、京都産大に留学したのです。
- ということは本学留学時は17歳。とても若い初日だったと伺っていますが、
- ニュージーランドから成田、新幹線に乗って京都に着き、迎えに来られたのがホームステイ先の今井俊さん(現・学生部事務部長)。それで家に向うのかと思っていたら、連れて行かれたのが京都産大の柔道場。訳のわからないまま道着に着替え、いきなり稽古することに。初体験の柔道に寝不足の頭はハニック状態。それでもなぜか楽しくて、コーチの方に「素質があるから明日も来いよ」と言われたのがうれしくて：：現在、マスコミ等に公布しているプロフィール

EDS Japan 代表取締役社長

ケリー・パーセルさん

Kerry J Purcell

1982年～1983年 外国語部に同窓会交換留学生として在籍

京都産大で身につけた“日本流の根性と礼儀”こそ、世界トップクラスのグローバルIT企業の日本法人社長へヘッドハンティングされた理由のひとつと語る元・留学生。

●ケリー・パーセルさん ●インタビューア

- 「柔道初段・黒帯」と記せるに至っています。この一行は日本の顧客に好印象のよう。初対面の商談が弾んだりもするので、あの時ほめてくださったコーチに感謝しています(笑)。
- 但し、とてもでない初日はそれで終わりではないのです。次に訪ねたのがラグビー場。本場ニュージーランドの州代表の選手だった私は勇んで練習に加わりました。ところが京都産大ラグビー部の練習は想像を絶するハードさ。練習が終わって日が沈む頃、放心状態になっていたら今井さんが今度は「隣が馬場だ」と。牧場育ちの私は気づけば馬に乗っていて……後のことは記憶にありません(笑)。
- その後もそれら本学伝統の強豪部で活動されたそうですが、20数年前といえば、根性あるのみ」の時代。大丈夫だったのですか?
- 戸惑うことが多かったのは事実です。でも歯を食いしばってついていった甲斐あって、私に「日本流の根性と礼儀」が身についた。それを見抜いたEDS社の首脳が日本人の社長に私をヘッドハンティングしたわけですから、「学生時代に流した汗と涙は裏切らない」という言葉は真実なのです。
- それほど多くの汗と涙を流されたのですか……
- 最も、熱い思い出は九州産大と福岡でおこなったラグビー部の試合のこと。先発出場した私は前半で足にマメをつくり、歩くのが精一杯という状態。それで監督の太西健先生に「後半は交代を」と申し出ました。すると先生は「良かった。休めばよい。但し選手交代はしない。14人で戦う」と言われた。この言葉の衝撃は凄まじく、後半もマメの痛みに耐えながら懸命に走りましたが、それで得た対価は私にとっただけがえのないもの。「人生に交代はない、世界にケリー・パーセルは一人しかいない」ということを肝に銘じて生きるようになったのです。
- 以来、「人生に交代はない」との思いで国際ビジネスの舞台を駆け抜けてこられた。
- まさしくその通り。京都産大での留学はわずか1年ですが、皆さんと同じ4年、いやそれ以上に多くのことを学んだと思っています。帰国して大学を卒業、伊藤忠商事に入社して4年間、東京本社に勤務することができたのも、第
- 「勤銀のロンドン支社でM&Aの最前線に立つことができたのも、その経験をベースに現職に就いたのも、すべては、あの1年」が起点。当社(EDS Japan)はこれまで、日本における戦略を見誤っていた感があり、その立て直しが私の任務。今あらためてあの時の太西監督の言葉を思い出し、決意を新たにしています。
- 今年6月、硬式野球部が全日本大学選手権に出場した時は多忙を調整、神宮へ応援に行かれたとのこと。そんな「母校愛」に充ちたケリーさんから、「世界の雄飛を志す」後輩「たちへ」アドバイスをお願いします。
- 東京にいる外国人ビジネスマンの多くは、母国と日本の異なりから、しばし愚痴をこぼします。しかし、ビジネスで最も大切なのは相手を敬う姿勢。これなしでの成功はあり得ない。そのためには日本であること、どこであること、その国・地域に根づいた「流儀と礼儀」を身に染み込まさなければならぬ。だから後輩諸君が海外に赴いた際は異質云々にとらわれることなく、私の京都産大時代のように「ここではそうなんだ」と思うと同時に、「だからこそ異文化体験は楽しい!!」と思っておきたい。そうすれば必ず、その国・地域の扉は開く。
- そして、私がグローバルカンパニーの日本代表職に就けたと同様、重い扉を開けた人間のこととは、どこかで誰かがきくと見ている。海外の地ながら、自身「第二の故郷」と呼ぶ国でキャリアを生きる喜びは相違なく。近々将来、「EDS社がヘッドハンティングしたい!!」と思えるほどの後輩が、世界を舞台に活躍していることを期待しています。



「米国の文化・風習は日本に色濃くあるから、学生時代に留学するなら欧州や南米がオススメ」と言われたケリーさんは、海外留学の価値のひとつを「私を我が息子のようにならなうに愛してくれたホストファミリー、今井家のような人々との出会い」とも述べられています(写真は今の今井家の居間で寛ぐ留学当時のケリーさん)。

